

令和7年度第2回

# 龍ヶ崎市歴史民俗資料館 運営審議会資料

龍ヶ崎市教育委員会文化・生涯学習課  
(龍ヶ崎市歴史民俗資料館)

## 目次

◇議案第1号	
令和8年度歴史民資料館事業計画(案)について .....	p3

別紙1 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

令和8年度歴史民俗資料館事業計画(案)



1 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

(1) 常設展示		
展示期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日	
展示場所	常設展示室、エントランス、屋外	
内 容	龍ヶ崎の歴史と民俗をテーマに時系列的に関連資料を展示。 エントランスホールには、国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」のジオラマと視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。屋外には、市指定文化財4号機関車をはじめ、納屋を模した建物に田舟や水稻栽培に用いた農具、商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。	
(2) ボランティア作品展「布れあい染織展」		
会 期	4月下旬～5月上旬	 <p>令和7年度展示風景</p>
開催場所	企画展示室	
内 容	体験学習等で協働している資料館ボランティアと共催で、染色や機織りの活動成果(作品等)を展示。	
(3)小展示「香の雅～香道具～(仮題)」		
会 期	6月	 <p>香道具と香木(個人蔵)</p>
開催場所	企画展示室	
内 容	日本の三大芸道の一つである香道に用いる江戸時代の蒔絵箱や象嵌の香炉、香木を展示し、香道への理解を深め、普及の一助とする。	
(4) 非核平和推進事業展		
会 期	7月	 <p>市内商店のチラシ(当館蔵)</p>
開催場所	企画展示室	
内 容	市人事行政課と共催で、広島平和記念館や長崎原爆資料館が所蔵する原爆写真パネル等を展示して、戦争や被爆体験を次世代に継承して平和意識の高揚を図る。	
(5)企画展「龍ヶ崎のお店 ハイカラ広告展」(仮題)		
会 期	8月	 <p>市内商店のチラシ(当館蔵)</p>
開催場所	企画展示室	
内 容	龍ヶ崎は、明治から昭和初期にかけて「商業の街」といわれ栄えてきました。当時の賑わいを商店街の地図や、各店のチラシから読み取り、さらに時代背景等もあわせて紹介する。	



(6) 絹本著色十六羅漢像(レプリカ)展		
会 期	9月～10月	
開催場所	企画展示室	
内 容	重要文化財のレプリカ全 16 幅を作成し展示公開して6回目。市唯一の絵画の重要文化財を通じて、原資料所蔵者である金龍寺の寺歴等と合わせて、文化財への理解を深める。	令和 7 年度展示風景
(7) 郷土作家「鈴木草牛」展		
会 期	11月	
開催場所	企画展示室	
内 容	郷土作家鈴木草牛のご遺族からの寄贈作品群と、その後に市民から寄贈された作品を展示し、作家の顕彰と寄贈者への謝意を伝える機会とする。	令和7年度寄贈作品
(8) 収蔵品展		
会 期	1月下旬～3月	
開催場所	企画展示室	
内 容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔の暮らし』の見学時期に合わせて、昔の道具類を展示して学習支援を行う。	

## 2 普及事業の実施



(1) 郷土史講演会「古鬼怒湾岸の縄文時代貝塚を俯瞰して」	
開 催 日	未定
開催場所	多目的室
募集人数	30名
講 師	今橋浩一氏
内 容	昭和38年(1963)に常陸川に水門が作られ淡水化する以前この地域は、中世には香取海と称された内海であり、さらに縄文時代は古鬼怒湾といわれる内湾であった。茨城県南部の貝塚を通して、古鬼怒湾の沿岸について講演いただく。
(2) 古文書講座「近世古文書を読む」(上級コース・初級コース)	
開催回数	上級コース…8回 初級コース…8回
開催場所	多目的室
募集人数	各コース30名
講 師	盛本昌広氏、古文書同好会員外
内 容	寄贈・寄託の近世史料をテキストに用い、くずし文字の解読方法を学び、あわせて、歴史用語や時代背景を解説する。

(3) 歴史散歩やデジタルスタンプラリー		 <p>令和7年度スタンプラリーチラシ</p>
開催日	5月、3月	
募集人数	20名	
内容	郷土を再発見する目的でコースを設定し、郷土の史跡や寺社を見学する散策会を開催する。また、他部署や市民団体と協働する散策コースの随行やデジタルスタンプラリーの資料監修を行う。	
(4) れきみんシアター		
開催日	毎週土曜日	
開催場所	多目的室	
内容	小中学生を対象に、「まんが日本昔ばなし」を上映し、アニメを通して歴史に対する関心を促進する。	
(5) 撞舞コスプレ体験		 <p>令和7年度参加者</p>
開催日	7月(3回)	
開催場所	エントランスホール	
内容	撞舞への理解を深めていただく機会として、寄贈いただいた子どもサイズの舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影を行う。	
(6) 8mm フィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会		
開催日	8月～10月の各第1土曜日	
開催場所	多目的室	
内容	協働事業「映像アーカイブによる街づくり」で市民から集めた8mmフィルムを活用したDVDの上映会。	






### 3 体験学習教室の実施


(1) わら草履作り教室		 <p>令和7年度参加者</p>
開催日	8月(2回)	
開催場所	体験学習室、屋外	
募集人数	各回6名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	現在は触れることが少ない「わら」を用い、技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。	
(2) 注連飾り作り教室		 <p>令和7年度参加者</p>
開催日	12月(2回)	
開催場所	体験学習室、屋外	
募集人数	各回6名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び、製作技術を伝承する。	

(3) 草木染め教室		
開催日	5月、8月、10月(計3回)	
開催場所	体験学習室、屋外	
募集人数	各回8名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	ハンカチとストールを素材に、春は桜の枝葉、夏は藍の生葉、秋はススキ等を用いて日本の伝統的な染めの技法を学ぶ。	令和7年度桜染め参加者
(4) 折り紙教室		
開催日	3月	
開催場所	多目的室	
募集人数	8名	
講師	折り紙伝承者	
内容	装飾性のある和紙を使って作品を折り、折り紙の魅力に触れる。	令和6年度作品親子鶴
(5) 機織り伝承教室		
開催日	毎週火曜・木曜日(通年)	
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
講師	資料館ボランティア	
対象者	資料館ボランティアの希望者	
内容	高機の活用と機織りの技術を習得し、その技術を伝承することを目指す。また、館内で実演も行う。	令和6年度参加者
(6) 機織り体験教室		
開催日	3月(8回)	
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
募集人数	各回3名	
講師	資料館ボランティア	
内容	龍ヶ崎木綿への理解を促進し、技術伝承の一端を学ぶ。	令和6年度参加者
(7) 簡単機織り教室		
開催日	8月(2回)	
開催場所	エントランスホール	
募集人数	各回10名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	卓上の機織り機を用いて、不要になった布から新しく織物を織る「裂き織」を体験し、布のリサイクル技法を学ぶ。	
(8) 龍ヶ崎とんび凧教室		
開催日	12月	
開催場所	体験学習室	
募集人数	8名	
講師	龍ヶ崎とんび凧研究会	
内容	市民遺産である「龍ヶ崎とんび凧」を制作し、その魅力と凧揚げの文化を伝承する。	令和7年度参加者

(9) お手玉作り教室		 <p>令和6年度参加者</p>
開催日	2月	
開催場所	体験学習室	
募集人数	8名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊びに触れる。	
(10) 香道の実践教室		 <p>体験風景(講師提供)</p>
開催日	6月	
開催場所	体験学習室	
講師	中原篤徳氏	
内容	香道具の展示と合わせて、香を聞く体験教室を実施し、伝統文化である香道に興味を持っていただく一助とする。	

#### 4 文化活動の推進及び支援

(1) 常陽小学生新聞『昔の道具とくらし』に寄稿		 <p>令和7年度実習生</p>
内容	所蔵している昔の道具の写真と解説文を寄稿し、子どもたちに昔の道具とくらしへの関心を喚起するとともに、館のPRを図る。	
(2) 資料閲覧及びレファレンス		 <p>令和7年度実習生</p>
場所	図書研究室、事務室	
内容	資料に対するレファレンスを行い、閲覧対応及び貸出を行う。	
(3) 学芸員実習生の受入		 <p>令和7年度実習生</p>
内容	大学の依頼を受け実習生を指導し、学芸員養成の支援を行う。	
(4) 職場体験の受入		 <p>令和7年度職場体験</p>
内容	中学校から依頼を受け、生徒に機織り体験や民具調査の手順、古い写真と現在の写真を対比する展示実習を行い資料館業務への理解を深める。	
(5) ボランティア活動の推進及び支援		 <p>令和7年度職場体験</p>
対象者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者	
内容	資料館や関連事業について精通した人材を育成し、ボランティアが参画する事業を推進する。	

(6) 古い道具と昔のくらしの学習支援		
期 間	1月～2月	
対 象 者	市内及び近隣小学校	
内 容	小学3年生の社会科「古い道具と昔のくらし」の見学学習に合わせ、昔の道具の展示解説、ビデオ上映、機織り等を実演し、学習支援を行う。	
		令和6年度小学生へ説明風景

## 5 資料収集整理保存

(1) 資料の収集	
内 容	郷土史料・民俗資料の収集を行う。また、自治体史や博物館発行図書の収集を行い、郷土史関係図書の充実を図る。
(2) 資料の整理・保存	
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い、郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続する。収蔵庫資料や展示資料の虫害、菌害を防止する燻蒸作業の前段階として環境調査モニタリングを行う。
(3) 市内古民家の調査	
内 容	市域の民家調査は、市史編さん過程で昭和 58 年(1983)から同 61 年(1986)に行われた。それから 40 年が以上経過し、調査した古民家の現況に加え、看板建築と称される西洋風のデザインを取り入れた銅板やタイル、モルタル等で装飾された木造の店舗兼住宅の商家や石蔵等について、旧龍ヶ崎町地区中心に古民家調査を行う。

## 別紙1

## 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

氏名	選出区分	備考
もろはし ともりのり 諸橋 智紀	学校教育関係者	久保台小学校教頭
くろだ ともみ 黒田 友美	学校教育関係者	長山小学校教諭
おの たけと 小野 威人	学校教育関係者	並木中等教育学校 副校長
さかいり ようこ 酒入 陽子	学校教育関係者	流通経済大学 スポーツ健康科学部 教授
ふじもと ひろこ 藤本 弘子	社会教育関係者	資料館ボランティア会長
よしば としゆき 由波 俊幸	学識経験者	茨城県立歴史館 学芸課長
さとう まきよし 佐藤 正好	学識経験者	文化財保護審議会委員
つかもと ゆたか 塚本 裕	学識経験者	市商工会会長
もちづき すすむ 望月 進	学識経験者	市観光物産協会会長
きくち よしこ 菊地 禎子	公募の市民	【新任】

任期:令和7年10月1日から令和9年9月30日まで